

次期生物多様性国家戦略について

資料 1

令和 4 年度第1回環境審議会でのご意見

次期生物多様性国家戦略の内容を先取りして取り入れることはできないか。

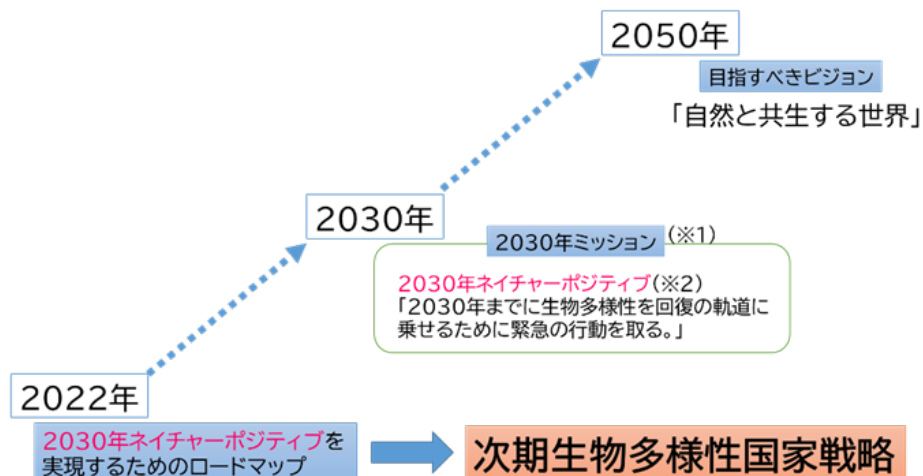
生物多様性国家戦略 2012-2020 5 つの基本戦略

- ①生物多様性を社会に浸透させる
- ②地域における人と自然の関係を見直し、再構築する
- ③森・里・川・海のつながりを確保する
- ④地球規模の視野を持って行動する
- ⑤科学的基盤を強化し、政策に結び付ける

生物多様性国家戦略 2012-2020 の全体的な評価

- 基本戦略に沿った様々な施策を実施しているものの、更なる取組の強化や、新たな取組の開始が必要である。
- 基本戦略に対する関連指標や数値目標の設定はされていないことから、達成目標を端的に示すことは容易ではなく、次期国家戦略では基本戦略に対応する指標や数値目標の設定が望まれる。

次期生物多様性国家戦略(次期国家戦略)は、生物多様性国家戦略 2012-2020(以下、現行国家戦略)の評価を踏まえて掲げられた、2030 年ネイチャーポジティブを実現するためのロードマップとして策定されることになっています。



※1 生物多様性国家戦略2012-2020の評価を踏まえて設定された。

※2 生物多様性や自然の損失を食い止め回復させ、豊かにすること。

現行国家戦略の評価を踏まえ策定される次期国家戦略の5つの基本戦略は、特に強化して取り組むべき課題として示されている。

次期国家戦略 5つの基本戦略(案)

	取り組み例
①生態系の健全性の回復	生態系の保全・再生強化、自然環境保全の取り組み支援
②自然を活用した社会課題の解決	鳥獣被害対策や外来種などの生態系からもたらされる負の影響への対策。
③事業活動への生物多様性・自然資本の統合(ネイチャーポジティブ経済)	地域と生物多様性の好循環を促進すること。
④生活・消費活動における生物多様性との再統合(一人一人の行動変容)	教育や啓発を通じて生物多様性を重要視する価値観が形成されている。自然にふれあう機会を増加させる。
⑤生物多様性に係る取組を支える基盤整備と国際連携の推進	主体間連携における情報発信や主体間の相互交流の場、生物多様性に関する情報の共有、保全活動のモチベーションを継続させる取り組みをおこなう。

回答

- 生物多様性いちかわ戦略は、生物多様性国家戦略地域戦略策定の手引きに基づき「地域住民、環境団体、学識経験者、県、近隣市などとの調整を諮りながら丁寧な議論、調査を踏まえ策定されました。
- 手引きにおける新たな取組を取り入れる際には、これまでと同様に関係各所と調整を諮り、議論、調査を重ねていく必要があります。
- 現状では、国から示された生物多様性国家戦略地域戦略の手引き(草案)に、具体的な関連指標や数値目標が示されていないことから、新規取組を追加することは難しいと考えています。
- 次期国家戦略が確定後速やかに検討を始め、次期いちかわ戦略に反映していきたいと考えています。
- また、次期国家戦略 5つの基本戦略(案)取り組み例は、いちかわ戦略の短期目標の取り組みと合致していることもあることから、次期国家戦略を意識し、2025年まで取り組んでいきます。